

白浜町 議会だより

No. 82

令和8年(2026)11月



Contents

令和8年第3回定例会	2~5
一般質問	6~9
議員政治倫理審査会	10
町議会・町議会議長の主な動き	11
次回定例会日程など	12

第3回 (9月) 定例会

令和8年第3回定例会は、9月

1日招集、16日間の会期で開催され、当局より提出された議案などについて審議しました。

条例改正

○白浜町印鑑条例の一部を改正する条例について

○白浜町ひとり親家庭医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について

工事請負契約

○白浜町清掃センター(ごみ焼却施設等)長期整備その2工事

【工事場所】

・白浜町保呂749番地

【契約金額】

1億7358万円

【契約の相手】

・大阪市北区堂島一丁目6番20号

荏原環境プラント株式会社

西日本支店

支店長 山内 秀洋

○白浜町ITビジネスオフィス共用部分改修建築工事

【工事場所】

・白浜町2998番地の1-9

【契約金額】

4928万円

【契約の相手】

・白浜町1296番地の1

株式会社西峰工務店

代表取締役 西峰 嵩

○富田中学校屋内運動場空調設備設置工事

【工事場所】

・白浜町栄320番地

【契約金額】

7208万3000円

【契約の相手】

・白浜町1472番地の2

中央設備株式会社

代表取締役 金子 賢次

報告

○第29期南紀白浜コミュニティ放送株式会社経営状況の提出について

○令和7年度公益財団法人白浜医療福祉財団経営状況の提出について

○令和7年度健全化判断比率の報告について

○令和7年度資金不足比率の報告について

その他

○専決処分承認について

・物損事故に対する損害の賠償

○令和7年度白浜町水道事業特別会計未処分利益剰余金の処分について

特別委員会の設置

○決算審査特別委員会

令和7年度一般会計および各特別会計の決算認定について、特別委員会を設置し、閉会中に継続審査することとしました。

・委員長 古田 彩

・副委員長 溝口 耕太郎

・委員 小森 一典 菊原 章

・委員 鈴木 彬人 真鍋 和功

・委員 丸谷 和樹 廣畑 志保

・委員 黒田 武士 雑賀 弥一

補正予算

○令和8年度白浜町一般会計補正予算(第3号)

既定予算への補正額

4億1722万円

・補正後の歳入歳出予算総額

146億882万円

※減額修正後の額(次頁参照)

主な補正内容

【総務費】

・観光地経営の高度化事業

1000万円

・臨時地域活動助成金

1200万円

【農林水産業費】

・有害鳥獣捕獲檻購入費

165万円

・海業推進事業費補助金

500万円

【観光費】

・宿泊割引クーポン配布等事業

252万円

・ペットツーリズム推進事業

330万円

【災害復旧費】

・農林水産業施設災害復旧費

5783万円

第3回定例会の概要

- 9月1日(第1日)
 - ・会期決定、議案提案説明
- 9月10日(第2日)
 - ・一般質問
- 9月11日(第3日)
 - ・一般質問
- 9月15日(第4日)
 - ・議案審議、議案提案説明
- 9月16日(第5日)
 - ・議案審議

・補正後の歳入歳出予算総額 34億1310万円	・既定予算への補正額 1億150万円	・補正後の歳入歳出予算総額 7億7365万円	・既定予算への補正額 860万円	・補正後の歳入歳出予算総額 26億5110万円	・既定予算への補正額 2520万円
---	--	--	--	---	---

○令和8年度白浜町介護保険特別会計補正予算(第2号)

○令和8年度白浜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

○令和8年度白浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

修正動議

議員発議修正案を再度可決

令和8年度 白浜町一般会計補正予算(第3号) 愛玩動物火葬事業

令和8年度白浜町一般会計補正予算(第3号)案に対し、小森 一典議員、鈴木 彬人議員から減額修正案の提出がありました。

令和8年第2回定例会(6月議会)に引き続き提出されたもので、修正案の内容は、6月議会と同様に、平草原公園を拠点にペットの個別火葬を移動式で行う「愛玩動物火葬事業」に要する費用として計上した1,558万円を減額するものでした。

減額修正案の提出の主な理由は、「町単独の新規事業の必要性や収支予測、今後の事業としての町益等を踏まえ、十分な議論が尽くされていないこと」また、「6月議会での減額修正案の可決後、議会への説明がない、6月議会の議決をどう受け止めたのか、当局の姿勢に重大な疑義を感じる」、「単なる一事業の問題ではなく、議会と当局の信頼性に関わる大きな問題と認識している」とし、修正案を提出した小森議員が提案理由の説明を行い、修正案に賛成として鈴木議員、松田 剛治議員、溝口 耕太郎議員が討論を行い、起立採決の結果、採決には、小森議員、鈴木議員、松田議員、溝口議員のほか、廣畑 志保議員、黒田 武士議員が賛成し、賛成多数で減額修正案を可決しました。

○修正案賛成討論の要旨

鈴木 議員	議会が一度否決という明確な意思を示した以上、それを受けて事業の必要性や費用対効果など、改めて検討することが当然求められると考える。しかしながら、事業の内容、目的、実施方法、予算額について何ら変更、または追加の説明がなされないまま再び提出されたことは非常に残念であり、議会として重く受けとめなければならない。
松田 議員	令和8年6月議会において説明不足を理由に否決された本事業が、今回も十分な説明がないまま再度上程されている。前回、議会において否決されたことの重みを十分に踏まえ、必要な説明を尽くした上で、再提案されるべきものと考えている。
溝口 議員	事業の収支計画を議員、議会に示していただかないと、事業そのもので判断して、あとはおいおい議会と相談をしながら決めていけばいい、というのは進め方が間違っている。議会と当局との間の信頼関係を損なう事態ではなかろうかと思う。 今回については事業の内容に賛成、反対、そういった次元を超えて、町が新規事業を進める際の議会に対する提案の仕方、このことについて大変当局は逸脱をしている。

Pick Up! ①

令和8年度 白浜町一般会計補正予算(第3号)

宿泊割引クーポン配布等事業

若年層に対する白浜の認知度向上と冬期の宿泊数の増加を目的として、オンライン旅行予約サイトを活用した宿泊割引クーポン配布等事業を実施します。

◆宿泊対象期間:令和8年12月頃～令和9年3月頃(予定)

◆割引率:約40%(宿泊料金等に応じて設定) ◆事業費:広告料 17万円、委託料 235万円

質疑抜粋

問)主に若年層に対する白浜の認知度向上と、冬季の宿泊数の増加を目的として事業展開しようとしているようであるが、この235万円の委託料、割引率としては約40%とあるが、どのぐらいの宿泊人数を見込んでいるのか。

答)白浜の観光客はリピーター層がかなりの割合を占めているが、その中でも10代、20代が全体に占める割合は15%ぐらいにとどまっている。今後リピーターとなるべききっかけを、若いうちに体験していただきたいという目的で、今回、若年層に絞ったクーポンを実施したいと考えている。現在の想定では、2名以上で宿泊料金2万円以上の場合に割引率が40%のものを約100枚、また3名以上で宿泊料金が3万円以上の場合に割引率が40%のものを同じく100枚程度予定している。

Pick Up! ②

全員協議会(9月1日開催)

白良浜利便増進施設整備実証実験事業について

白良浜地内に海岸利用者の利便性向上と誘客促進につながる施設(白良浜ビーチカフェ)を整備し、その利用状況や誘客効果、通年営業の可能性等を検証するための実証実験事業の現状について、全員協議会で説明がありました。



◆実施主体:白浜町 ◆事業実施団体:一般社団法人南紀白浜観光協会

◆事業者:株式会社タイシステム(※令和8年6月5日 カレイドジャパン株式会社より事業者変更)

◆協定期間:令和7年5月1日～令和10年4月30日 ◆使用料:年額30万円

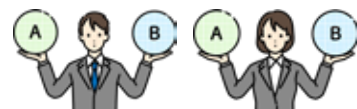
◆運営実績:営業利益△583万円 売上達成率71%(令和7年8月1日～令和8年6月14日の実績)

質疑抜粋

問)この事業は、冬場の利用客が少ない時期に観光客を誘導したいという2年8か月の実証実験である。当初の事業者が1年も経過しないうちに撤退したことを踏まえ、出てきた課題などを総合的な見地からもっと深く検証し改善しなければ、同じような結果になってしまうのではないか。

答)そもそも実証実験であり、まだ1年しか経過していない。当初の事業者の撤退も、この事業だけが原因ではなく、企業全体の事情もあった。新しい事業者は、前の事業者の1年を見たなかでも、それでも白浜、白良浜には魅力があるということで参入され、大変協力的にやってくれている。参入した事業者に対し、町が赤字を補填したりすることはない。この事業も含め、温泉という大事な白浜の資産を前面に出し、通年型の観光まちを目指し積み重ねていっている。事業の期間はまだ半分も経過していない。変わってゆく白浜に対して、応援もしていただきたいし、この事業についても理解をいただきたい。

第3回(9月)定例会 審議結果一覧



件 名	結果	小森 一典	松田 剛治	菊原 章	長野 莊一	鈴木 彬人	真鍋 和功	古田 彩	丸谷 和樹	廣畑 志保	黒田 武士	溝口 耕太郎	雑賀 弥一
専決処分の承認について(損害賠償の額を定めること)	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について(白浜町清掃センター(ごみ焼却施設等)長期整備その2工事)	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について(白浜町ITビジネスオフィス共用部分改修建築工事)	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について(富田中学校屋内運動場空調設備設置工事)	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
白浜町印鑑条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
白浜町ひとり親家庭医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度白浜町一般会計補正予算(第3号)議定について	(*)可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	×
令和8年度白浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)議定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度白浜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)議定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度白浜町介護保険特別会計補正予算(第2号)議定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 議案等に対する賛成者は「○」、反対者は「×」とし、議長は通常、採決に加わらないため、「/」としています。 ※ (*)一般会計補正予算(第3号)は、修正部分を除く原案可決

請願の審査結果

令和8年第2回定例会に提出のあった2件の請願書については、継続審査となっていました。令和8年第3回定例会本会議において審議の結果、両請願とも全会一致で不採択とすることに決定しました。

○令和8年 請願第1号

件名	ペット火葬事業の拙速な予算化をしないよう求める請願
請願者氏名	鈴木 丈夫 外41名
紹介議員	廣畑 志保
付託委員会	議会運営委員会
審査日程	8月7日、8月25日

○令和8年 請願第2号

件名	ペット専用火葬施設整備について 請願書
請願者氏名	篠岡 良尚 外178名
紹介議員	雑賀 弥一
付託委員会	総務文教厚生常任委員会
審査日程	8月25日、9月1日

【付託委員会 委員長報告要旨】

委員会に付託された請願については、過日審査を行い、また審査にあたっては紹介議員の出席を求め意見を徴し、審査の参考としました。本請願にあるペット火葬事業は、5月22日に開催された全員協議会において議題としてあげられ、各議員からも、様々な意見と熱心な議論がありました。

本事業費は、令和8年度一般会計補正予算(第1号)として計上され、6月定例会に提案されましたが、議案審議において、本事業費の減額を求める修正動議が提出され、慎重審議の結果、本事業費を減額する修正案が可決されております。本請願の趣旨に対しましては、議案審議の場で公正かつ公平で十分な議論を行い、その結果をもって議会としての意思を表明しているところであります。そのため本請願につきましては、別途、採択する必要性は低いと考えられ、本委員会採決の結果、全会一致をもって「不採択とすべきもの」として結果を得ました。

※ 議会運営委員会、総務文教厚生常任委員会(どちらも溝口委員長)とも、委員長報告は同内容であったため、併せて記載しています。

一般質問

一般質問とは、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行の状況及び将来に対する方針等について質問を質し、あるいは報告、説明を求め、または疑問を質すことをいいます。

質問議員 / 質問事項

○雑賀 弥一 議員(6P)

1. 白良浜海水浴場及び周辺海域における安全で公平な利用ルールの再構築について
2. 白浜町における民泊・一棟貸し事業の現状把握と地域との共生について

○古田 彩 議員(7P)

1. 町内の防災(避難所)の整備について
2. 小学校低学年における学習机について
3. 学童保育のあり方について
4. 平草原公園白浜民俗温泉資料館について

○溝口 耕太郎 議員(7P)

1. 白良浜利便増進施設整備実証実験事業(白良浜ビーチカフェ事業)について

○真鍋 和功 議員(8P)

1. 漁業振興について
2. 観光振興について

○丸谷 和樹 議員(8P)

1. 町が保有する普通財産・行政財産の有効活用について
2. 公共施設等の移転と移転後の活用について
3. 学校統合と廃校後の施設活用について
4. 高齢者等の移動手段と将来の地域交通について

○松田 剛治 議員(9P)

1. 災害時における避難生活支援の充実について
2. 子どもの安全対策の強化について

○廣畑 志保 議員(9P)

1. 白浜町都市公園である白良浜海水浴場の利用について



さいか やいち
雑賀 弥一 議員

QRコードの有効
期限は12月下旬まで



水上バイク

問 民泊と地域共生のルール
白浜町には民泊274件、簡易宿所158件があり、夜間の騒音や悪臭、無断駐車などの相談も寄せられている。規制だけでなく、事業者、宿泊者へのルール周知、相談体制や関係部署の情報共有を進め、地域と宿泊事業者が共生できる仕組みを整える考えについて問う。

答 民泊事業に関する苦情は、宿泊者のモラルに関するものが大半であり、民泊事業者には現地立ち合いを行い、苦情内容を詳しく説明した上で宿泊者に対して事前にハウスルール等の周知徹底を行うなど、改善策を講じるよう申入れを行っている。引き続き田辺保健所と連携して対応していく。

問 白良浜周辺海域のルール再構築
白良浜周辺では、水上バイク、遊泳、漁業、SUP、カヤックなど多様な利用がある一方、町と県の管理区域が混在している。安全対策やルールの隙間をなくすため、関係機関が連携し、実態を踏まえた周辺海域のルールを整備する考えについて問う。

答 白良浜海水浴場や周辺海域については、去る8月28日に田辺海上保安部、西牟婁振興局を訪問し、不正な営利目的やルールの逸脱した水上バイクの航行、漁港区域周辺の長時間の占有などについて、課題解決に向けた取組の協力を求めたところである。特に白良浜におけるルールの再構築については、来年に間に合うよう、担当課に指示をしている。

答 関係機関と協力して課題解決に取り組む

問 白良浜周辺海域のルール再構築について

問 誰もが安心してできる避難所へ

答 避難所の環境改善に一步ずつ取り組み

避難所の整備について

問 南海トラフ巨大地震などに備え、町内避難所の現在の整備状況を確認する。また、要配慮者への配慮や、観光客・外国人への情報提供と受入体制は整備されているか伺う。

誰もが安心して避難できる環境づくりについて、当局の考えを伺う。

答 町開設の避難所では、避難所運営に必要な備蓄と施設整備の両面から環境改善を図るとともに、要配慮者の方々の支援として福祉避難所の開設等、安心して避難ができるよう計画している。また、観光客や外国人の方々に対しては、ホテル等での受け入れや、車中泊避難場所の確保、防災情報アプリの啓発等を通じ、災害時の安全確保を行っていききたい。

温泉民俗資料館の新たな活用を

問 平草原公園内の白浜町民俗温泉資料館について、今後のあり方を問う。雨の日でも子どもが遊び、学べる場所や、世代を超えて町民が集える場所として、既存施設を活用できないか、資料館の役割を見直し、町民に親しまれ、利用したくなる施設づくりについて、当局の考えを伺う。

答 現時点で資料館としての再開は予定していないが、今後のあり方として、平素は無料の開放スペースとして、子ども等の遊び場としての活用、有事の際には、ドッグラン設備も整っていることから、ペットがいることで避難場所への避難を躊躇される方も活用していただけるような施設づくりを検討している。



ふるた あや 議員
古田 彩



QRコードの有効期限は12月下旬まで



温泉民俗資料館

問 白良浜ビーチカフェ事業について

答 補助金要綱等に基づき適正に実施している

使用料等について

問 ビーチカフェの施設の使用料である月額50万円は、事業者から適正に支払われていたのか。

また、白良浜に構造物を建設した場合、白浜町は和歌山県に対して海岸占用料をいくら支払わなければならないのか。

協定書では施設の使用料は前払いになっているが、なぜ8月分の使用料が支払われていないのか。支払われていない状態のままでよいのか。

町はビーチカフェの建物の竣工検査を行ったのか。ビーチカフェ建設費の6千万円の見積書の単価チェックは行わなければならないのではないか問う。

答 令和7年度分の施設使用料21万3720円は、令和8年5月22日に一般社団法人南紀白浜観光協会から町へ納付されている。

白良浜に構造物を建設した場合の本町が和歌山県に納付する本施設の海岸占用料は、21万3720円となっている。

施設の使用料については、使用料の未納確認後、速やかに納入するよう南紀白浜観光協会に対し指摘を行っている。

本施設は町が発注した建築工事ではないため、町発注工事と同様の積算審査を改めて行う考えを持ち合わせていない。



みぞぐち こうたろう 議員
溝口 耕太郎



QRコードの有効期限は12月下旬まで



白良浜ビーチカフェ

問 漁業振興及び観光振興について

答 より安定した藻場造成に取り組む

藻場造成事業について

問 近年、磯焼けによる藻場の減少が問題となっている。藻場は魚介類の産卵や生育の場で、沿岸漁業を支えている。資源を守り育てる観点から、藻場造成や再生の取組を強化する必要性について、当局の考えを伺う。

答 漁協に事業委託して、藻場造成の可能性を調査、増殖を目指す。被害被害が多く、効果をもらっていない。来年度は専門業者への委託等、より安定した事業を検討している。

漁業従事者への支援について

問 漁業従事者にとって、燃料価格高騰は死活問題となっている。町の漁業を将来に残すため、町独自の補助制度を整備する考えはないか伺う。



まなべ かずのり
真鍋 和功 議員



QRコードの有効
期限は12月下旬まで



網不知漁港

答 漁船の燃油費を補助した経過があるが、国の交付金を財源とした。同様の交付金があれば、それを財源とした制度を検討したい。議員からは、田辺市とすみ町が補助しているとのことなので、精査してみる。

東白浜地域への新たな観光施策

問 東白浜地域の活性化について、観光客と地域住民の憩いの場となる新たな観光コンテンツ、足湯の建設について、考えを伺う。

答 温泉を核とした滞在型・体験型観光の充実には、観光客の満足度を上げる必要がある。街並みや食、体験等のコンテンツで地域の特色や魅力が重要であり、足湯などの温泉施設の整備も選択肢の一つと考えている。

問 10年、20年先の日置川を考える

答 子どもを真ん中に据え対話を重ねる

学校統合について

問 日置川地域では学校統合と新校舎の検討が進められている。将来の子どもの数や施設の維持管理費を考えれば、これまでと同じ形の学校を建てるだけでなく、保育園、小学校、中学校を一体的に考え、施設の共用やスクールバスの効率化も図れる「幼小・中一貫」を選択肢の一つとして研究してはどうか。

答 幼小中の連携や施設のあり方については、将来の子どもの数や地域の姿を見据え、幅広い視点で研究していくことが大切であり、「日置川で学ばせたい」「日置川で学びたい」と思っていただけのような教育を、地域全体でつくっていききたい。

将来の地域交通について

問 日置川地域のコミュニティバスは減便され、予約も2時間前までとなっている。人口減少や運転手不足が進む一方、免許返納後の移動手段はますます重要になる。バス、タクシー、鉄道を一体的に捉え、将来も安心して暮らせる地域交通をどう構築していくのか、考えを伺う。

答 学生や高齢者の移動手段として公共交通は必要不可欠なものであり、運転免許証を返納する高齢者の増加など、需要の増加が想定される。このような情勢の中、白浜町地域公共交通計画に掲げる目標や基本方針について、国や県の支援制度を活用し、将来にわたり持続可能な公共交通体系の維持確保に努めてまいりたい。



まるたに かずき
丸谷 和樹 議員



QRコードの有効
期限は12月下旬まで



日置川コミュニティバス

問 子どもの安全を守る見守り体制強化について

答 デジタル技術活用の可能性を探る

災害時医療体制の充実について

問 大規模災害に備え、白浜はまゆう病院等の医療体制の充実は不可欠。関連予算が縮減する中、平時からの救急医療の充実が災害医療の基盤となることを踏まえ、支援や予算の拡充を図るべきと考えるが、見解は。

答 白浜はまゆう病院をはじめとする地域医療機関の災害時対応の考え方や現状を把握することが重要である。それを踏まえた上で、町として出来る支援について検討する必要があると考えている。

災害時の要配慮者支援について

問 発達障害など外見から分かりにくい障害への理解を深め、災害時の配慮や支援を町公式ホームページ等

で周知する考えについて伺う。

答 障害特性や必要な配慮について、今後も避難訓練や研修などの機会を通じて地域の方々に理解を深めていただくほか、ホームページにも掲載し、要配慮者が安心して避難できる環境づくりの啓発をしていきたい。

デジタル技術等で見守り強化

問 防犯カメラやGPS・IoT・AIなどを活用し、町として子どもたちを地域全体で守る新たな見守り体制の構築について伺う。

答 通学路上の死角や危険箇所への防犯カメラの設置など、ハード面の整備と並行して、デジタル技術の活用についても、先進事例等を参考に、その導入の可能性を探っていきたい。



まつだ たけはる
松田 剛治 議員



QRコードの有効
期限は12月下旬まで



白浜はまゆう病院

問 白浜町都市公園である白良浜海水浴場の利用

答 関係規定等に基づき適正に対応している

8月1日の花火イベント

問 白良浜において初めて行う8月1日の花火イベントは、町が「共催」となっているが、事業の共催承認については、課長会等で十分な協議はされたのか。議会に審議を求めなくても良かったのか。

答 共催承認については、特に課長会議等、また議会での審議を経て決定するものではないが、課長会議において説明は行っている。事業実施報告書については、主催者側が実施状況を取りまとめている最中である。

主催者に事業実施報告書を決算書添付の上、提出するように指導し、その報告書は議会への提出を求める。イベントの実施に対し、行為許可書を交付したが、設営準備等の期間や当日に苦情や意見はなかったか。

当該イベントに対する意見や苦情等については、遊泳に関する問合せや、苦言、会場設営に関する指摘、次回開催の要望等があった。熱中症対策として休憩用テントの設置、冷却用品の配備、救護スタッフの手配を行った。

8月1日の当日は熱中症警戒アラートが出されていたが、イベントを実施してよかったのか。また、白良浜において行為許可しているほかの事業所はあるのか。

白良浜における行為許可申請は8月31日現在で、イベント、撮影等14件あった。



ひろはた しほ
廣畑 志保 議員



QRコードの有効
期限は12月下旬まで



白良浜立入り禁止

白浜町議会議員政治倫理審査会

詳細はコチラ
政倫審HP



議員の政治倫理に関する問題を審査するため、政治倫理審査会を設置しました。
政治倫理審査会では、審議を重ね審査結果を取りまとめています。

ここでは、審査会の設置から審査結果、議長の措置に至るまでの経過をお知らせします。

政治倫理審査会の審査結果について

○審査会の設置

令和8年5月20日、白浜町議会議員政治倫理条例に基づき、黒田 武士議員の町税等の滞納に関する審査請求書が議長に提出されたことにより、議会運営委員会での審議の結果、6名の議員で構成する白浜町議会議員政治倫理審査会を設置しました。

議員政治倫理審査会					
溝口 耕太郎 委員長	⋮	小森 一典 委員	⋮	菊原 章 委員	
真鍋 和功 副委員長	⋮	松田 剛治 委員	⋮	古田 彩 委員	

○審査の対象となった事項

審査請求では、黒田議員に町税等の一部に多額の滞納があったことについて、政治倫理条例第3条第1項第1号「町民全体の代表者として、品位と名誉を損なうような一切の行為を慎み、町民の利益の実現及び福祉の向上を目指し行動すること」および同項第10号「町税等の納付を誠実にを行うこと」に違反する疑いがあるとして審査が求められました。

○審査の経過

審査会は公開のもと開催され、6月16日から8月25日まで計6回にわたり審査を行いました。審査では、黒田議員に滞納に至った経緯等について説明を求め、質疑応答を行い、政治倫理条例に基づき弁明の機会を設けるなど、公平かつ慎重に審査を進めました。

その後、議員からの説明や弁明の内容を確認・整理したうえで審査を行い、審査請求で示された2項目について、いずれも政治倫理基準に違反する事実が認められると認定しました。

○審査の結果

審査会は、黒田議員の一連の行為について、政治倫理条例第3条第1項第1号および第10号に違反すると認定しました。

また、政治倫理条例第11条第3項に基づき、講じるべき措置について協議した結果、委員の総意により「議員の辞職勧告を行うこと」が妥当との判断を示しました。

審査会は8月25日に審査を終了し、8月26日付で審査結果報告書を議長に提出しました。

政治倫理審査結果に基づく措置について

政治倫理審査会の審査結果を受け、長野 莊一議長は、9月1日付で政治倫理条例第13条に基づく措置内容を「政治倫理審査会の審査結果を尊重し、辞職を促すものとする」と決定し、黒田議員に対し交付しました。

同日付の通知書において、議長は、黒田議員に対し、議員は町民の代表として、高い倫理観と責任感をもって職務を遂行し、住民の模範となるべき存在であり、審査会の意見を真摯に受け止め、議員の辞職を強く促すとともに、町民の信頼回復と議会の名誉保持のため、自ら進退について判断するよう要請しています。

町議会・町議会議長の主な動き(7月～9月)

令和8年7月から9月までの議会活動と町議会議長の主な公務の日程についてお知らせします。

定例会や各種会議、地域の行事への出席など、町議会の活動について、この期間に行われた主な活動をまとめました。



7月

7日	和歌山県水道協会総会
9日	議会広報特別委員会 戦没者追悼式
10日	白浜町老人クラブ連合会代議員総会
13日	富田川治水組合議会 富田川衛生施設組合議会
15日	議員政治倫理審査会 議員懇談会
23日	田辺周辺広域市町村圏組合議会
28日	大辺路衛生施設組合議会
29日	和歌山県後期高齢者医療広域連合議会
30日	公立紀南病院組合議会

8月

6日	和歌山県町村議会議長会 全議員研修会
7日	議員政治倫理審査会 議会運営委員会
18日	全員協議会 議員政治倫理審査会
21日	人権四者懇談会
25日	議会運営委員会 総務文教厚生常任委員会 議員政治倫理審査会
26日	第14回中学生議会

9月

1日	第3回定例会(第1日) 全員協議会 議会運営委員会 総務文教厚生常任委員会
10日	第3回定例会(第2日) 議会運営委員会
11日	第3回定例会(第3日) 議会運営委員会
15日	第3回定例会(第4日) 議会運営委員会
16日	第3回定例会(第5日) 議会運営委員会 議会広報特別委員会
29日	紀南環境広域施設組合議会

12月 定例会

日	月	火	水	木	金	土
11/29	11/30	12/1 第1日 提案説明	2	3	4	5
6	7	8	9	10 第2日 一般質問	11 第3日 一般質問	12
13	14	15 第4日 議案審議	16 第5日 議案審議	17	18	19

※ 次回の定例会は、12月1日から16日まで開催予定です。
詳しい日程などは、議会事務局までお問い合わせください。

録画配信

本会議などの様子をインターネットで録画配信しています。
録画配信の開始には、会議終了後、数週間程度お時間をいただいています。



録画配信HP

議会だより

過去の議会だよりについて、平成26年分からホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



議会だよりHP

第14回 白浜町中学生議会



8月26日に議場で行われた中学生議会では、7名の中学生議員が、町政や地域の課題について一般質問を行い、町当局に対し、自由な考えや新鮮な意見を堂々と述べました。

会議録の閲覧

町議会では、本会議及び各委員会の会議録を作成しており、会議録のすべては、町議会事務局で閲覧していただくことができます。なお、本会議の会議録については、平成23年分からホームページで公開しておりますので、いつでもご覧いただけます。

白浜町議会 会議録

検索



公開している会議録の閲覧は、ホームページで検索いただくか、左のQRコードからでもご覧いただけます。

編集後記

議員として歩み始めて半年。今回の9月定例会を終えて、改めて町民のみなさまの声を届けることという議員の役割と責任を感じています。

町を歩き、みなさまとお話しする中で聞こえてくる、暮らしの中の小さな声。その一つひとつに、白浜町をもっと良くするヒントがあると思っています。

「声を聞く、現場を見る、そして動く」

： 当たり前のことを、当たり前続ける。

： 議会は、町民のみなさまの暮らしと未来を決める大切な場所です。だからこそ、もっと身近に、もっと分かりやすく。

： 白浜町はもっと明るくなる。その可能性を信じ、みなさまとともに、一歩ずつ未来を動かしていきます。この議会だよりを通じて、議会のこと少しでも身近に感じていただけたら幸いです。(古田)